



2017

業界・組合リーダーの 年頭所感

新年を迎え、業界並びに中小企業組合のリーダーの皆様、
業界の現状、新年の展望等について、ご寄稿いただきました。
— 順不動・敬称略 —



製造業

群馬県コンクリートブロック

事業協同組合

代表理事 柳 澤 佳 雄

新年明けましておめでとう御座います。旧年中は格別なるご支援とご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は国内外とも波乱に富んだ出来事が起きた年となりました。特に国内では我々業界にとって影響の大きな地震が起きてしまいました。4月14日に熊本でM7.3、10月21日に鳥取県西部でM6.6、そして11月22日には福島県沖にてM7.4の大きな地震で各地に大きな被害が発生しました。我々の製品も崩壊や倒壊と言った事故で迷惑を掛けている実態があります。その為、我々業界としては優良な品質を持った製品を生産し、長期に亘る高品質（耐久、耐火、断熱、耐震、耐水害）な製品を使用し、且つ、確実な施工体制の基で安心で安全、快適な居住空間の創造に向けて着実に努力を重ねてまいります。

所存です。

本年も会員の皆様のご協力を得ながら、未来発展の為、事業に邁進させて頂きたくご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

前橋機械金属工業協同組合

理事長 金 井 正 直

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

刻々と変化している世界情勢に採られつつも日本経済は復調基調にあるといわれておりますが、親会社の生産縮小、海外移転は止むことはなく、私共中小製造業には先が心配される年頭です。

米国では予想外の新大統領が誕生し、日本製自動車への課税等々の発言で為替に影響が出ており、この先が憂慮されます。

以降、ものづくりを続ける為に、たとえば医療、介護、ロボット、IoT等の新産業の創出、少子高齢化に伴う人材確保、企業誘致などを国、県、市が積極的に支援す



るよう願っています。

また、平成28年度補正で各種の補助が成立しましたので、利用していきたいと思えます。当組合は今年創設以来67周年を迎えます。今年も2月に47回目の伊勢神宮参拝から始まり、例年通り各種研修会、親睦会を通じ組合員同士の結束、信頼、親睦を深めてまいりたいと考えておりますので、関係の皆様のお一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

群馬県印刷工業組合

理事長 吉 田 吉太郎

新しい年を迎え多少なり明るさが見えて来たようです。業界における構造的な行き詰まりで、新たな業態が各地に芽生え、従来にない業態深化の誕生とも言えます。近年のメディア媒体との劣化も、過去10年、印刷業では経営方策の悩みの状況でしたが、一部ではメディアと紙媒体の融合が始まっています。さらに、特徴を活かした成功例が見えつつある中、業界で示す事業経営の方向性を参考に、100社100様の業態深化が見



られます。

僭越に存じますが、私は毎年願いを込めた千社札を作成しています。今年は「自我作古」でした。この意味は、古い仕来りに囚われず、新しい道を拓き、後世の役に立つことを作り出す気概を示しています。

いよいよ始まる印刷業の融合産業への進展を期待しています。

桐生織物協同組合

理事長 牛 腸 章

すがすがしい新年を迎えられたことと、心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年の日本経済は、企業の基礎的条件は良好で、経済再生に向け前進すると言われていました。しかしながら、世界経済の不透明感や国内個人消費の低迷などもあって、当桐生産地においては、極端に厳しい環境にあった一年でありました。

また、昨今桐生の織物を称して「昔の繊維は良かった」と言われる方もいて大変残念な事と感じております。しかし、実際は世代交

代が進み、後継者が斬新な発想で活動し、成果を上げている事業所も多く有り、今年はこのネガティブな考えを払拭し、「今も桐生の繊維は元気だ」と言わしめる年にしたいものであると思っております。

そのためにも、本年も「伝統と新しい技術」をテーマに掲げ、「織都桐生千三百年」の歴史が証明する産地の技術に更に磨きをかけ、組合員企業の繁栄のため鋭意努力いたして参りますので、皆様には、一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

太田機械金属工業協同組合

理事長 坂 本 正 堂

輝かしい新年を迎え心よりお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、年初中国市場の暴落から始まり、イギリスの離脱をはじめとするEU情勢の不安定化、また、ひいてはアメリカ大統領選からくる国際情勢の不透明感と目まぐるしく混沌とする状況下におかれた年でありました。

国内を見ますと、企業の生産活動は自動車や一部電機部品においては輸出を中心に堅調な動きも見られたなか、熊本地震、また天候不順等の要因が重なり、消費税増税に落ち込んで以降、個人消費は一進一退の動きを見せ、消費者マインドの改善が進まないといった傾向にありました。

こうした中、組合員企業においては自動車産業を中心に海外に生産拠点を持つ企業も数多く、特にアメリカにおいてはTPP離脱問題をはじめとする諸問題が懸念される中、今後の経済政策が直結する問題となり強く注視していく必要があります。

また、依然厳しい雇用環境が続いており、組合員企業においては合理化・省力化投資への努力を進めている現状であり、中小企業の技術力とスピード力を少しでも高め、地域、国内、世界のオンライン企業を目指し、本年も一丸となつて取組んで行く所存です。

関係機関各位のご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

高崎機械工業協同組合

理事長 町 田 一 明

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

おかげさまで、高崎機械工業協同組合は、昨年創立60周年を迎える事が出来ました。これも偏に、中小企業団体中央会並びに関係機関各位のご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。

当機械組合では、一昨年より「非凡なる中小企業」の人材育成を目標に、若手・中堅社員からトップマネジメントまで幅広い階層を対象とした「ものづくり人材育成研修」を開催し、今年も引き続き開催をする予定であります。当機械組合は、ものづくりを通して、地域経済の発展とともに組合組織の下、良き仲間良きライバルとして未来に向け、ともにこれからも一歩一歩着実に成長発展していく所存であります。

さて、昨年は、英国のEU離脱問題や米国トランプ大統領の誕生等からの急激な円の高下により我々中小企業はかつてない厳しい



状況下にありました。

平成29年、酉年が苦難の時を経てこそその飛躍の年になりますことを強く念じ、地域経済を支えていくのは、我々中小企業であるとの強い気概を持って、この一年を乗り切っていきたいと思っております。

今年も関係機関各位の皆様より一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

群馬県生コンクリート工業組合

理事長 小林 美知夫

明けましておめでとうございます。新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私共群馬県生コンクリート工業組合は、生コン製造業30社38工場で組織された業界団体です。建設資材産業として県土の発展に微力ながらも努めております。近年、生コンクリート製造業を取り巻く環境は大変厳しい状況となっており、お客の皆様のニーズに際するため、品質管理を徹底し、良い生コンク

リートを提供するために取組んでいます。

どうか関係各位におかれましては倍旧に増してご指導賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様方のご健勝、ご発展をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

伊勢崎織物協同組合

理事長 田村 直之

新年明けましておめでとうございます。

昨年、織物業界を取り巻く環境は厳しい状況でありましたが、当組合では需要環境の改善を図るため、各種事業活動を展開致しました。しかし、和装離れや後継者問題など課題も多く、先人達が築いた伝統技術や歴史・文化の継承には資料保全が重要なテーマの一つになっております。この様なことから、資料室設置準備委員会で伝承の在り方について検討を始めました。

また、「伊勢崎絨」が国の伝統的工芸品の指定を受けていることから、和装文化の普及推進活動は大

変重要な使命でありますので、本年も当組合の活動に対し皆様方の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。新年の挨拶と致します。

群馬県製麺工業協同組合

理事長 星 野 陽司

現在は、デフレ経済から成長経済へと云われる中、少子高齢化の進行に伴う人材確保難、消費増税後の内需低迷に加え、新興国を始めとした世界経済の減速懸念などから、景気回復の実感が得られない経営環境が続いており、先行きに不安を抱えた状況にあります。

さて、我々麺業界は、販売量の低迷が続く中、一昨年4月に「食品表示基準」が施行され、全ての消費者向けの加工食品に栄養成分表示が義務化されました。さらに、昨年4月には製造所固有番号やアレルギー表示に係るルールが改善されるなど、矢継ぎ早の改定で、その対応に追われている状況にあります。また、加工食品の原料原産地表示の義務化も検討されており、さらなる負担が想定されてい

ます。加えて、徹底した衛生管理による高品質商品の提供等が社会的に高レベルで要求されるなど、個々の企業負担は益々増大しており、厳しい局面に直面しています。

このような状況下であります。消費者が求める「安心と美味しさ」を追求し、国民の主食の一端を担う業界として、国民食である麺食文化を守り、関係法令の遵守に努め、価値のある製品を提供していくことが私たちの基本であります。

昨年は、地産地消と食育の観点から県内の幼稚園児に県産小麦を使った貝だくさんうどん給食を提供し、麺食の利用促進に努めました。また、一昨年来行っている「美味しい上州のひもかわうどん」の広告を月刊誌や週刊誌に掲載し、群馬県のうどんの美味しさをアピールいたしました。

本年も昨年に続き、ぐんまの郷土料理の「おつ切り込み」と「ひもかわうどん」を積極的に宣伝し、地域食としての「めん」を通じた家庭づくりや人々のコミュニケーションなど、生活者の食の豊かさや麺食文化の向上に努めてまいります。



非製造業



群馬県柔道整復師協同組合

理事長 櫻井 弘

明けましておめでとう御座います。

旧年中は格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。本年も宜しくご指導の程をお願い申し上げます。

昨年は、組合創立20周年を迎え記念式典を開催いたしました。その際、中央会の金子正元会長様をはじめ多数のご来賓の皆様にご臨席賜りました。お陰様をもちまして盛会裏に開催できました。重ねて御礼申し上げます。

さて、私どもの業界は、年々、柔道整復師の数が増加しております。組合員一人ひとりの収入も激減しております。最近では、休業、廃業される組合員も増えてまいりました。この困難の時代を乗り切るべく、一昨年、若い力を結集して発足した青年部会もようやく軌道に乗り活動しております。

また、組合全体としても、ますます厳しくなる将来を見据えて、わが組合独自の発想をもつて伸展を目指していく所存です。

今後とも関係各位のご指導、ご支援の程をお願い申し上げます。

群馬県トラック事業協同組合

理事長 武井 宏

昨年は年明け早々、軽井沢スキーバス転落事故が発生し、運行管理上の不備が明らかとなる中、点呼の重要性が再認識され、運輸業界として安全・安心への対応、労働環境の改善が強く求められております。

また、県内トラック業界では運転手不足・人材育成対策として、群馬県が主催し群馬県貨物運送事業協同組合連合会が実施している「群馬県物流人材育成・確保対策事業」を積極的に活用し、人材の採用・定着・育成に役立てております。

当組合は、昨年度に引き続き組

合員の点呼業務をサポートするための事業をはじめ、各共同事業を積極的に進め、組合員のための組合づくりに取組んでまいります。今後とも関係機関各位のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

ぐんま共済協同組合

理事長 田部井 俊勝

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は格別なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当組合は、合併後、初めての商品として、高齢者に着目した「シルクシニア」の取扱いを開始し、昨年も極めて順調に実績を伸ばすことができました。近年、熟年層を就労年齢化する「定年の多様化」が進行する中、本共済制度は、県内中小零細企業の皆様に一定の評価をいただくことができたと考えております。

本年も、ぐんま共済は、共済事業を通じてご契約者の生命・財産をお預かりするという社会的責任の重要性に鑑み、適切なアフターフォローや迅速な共済金のお支払

など、付加価値の高いサービスの提供を行い、組合の持続的成長への実現を目指す所存でありますので、何卒変わらぬご指導、ご厚誼の程お願い申し上げます。

群馬県電機商業組合

理事長 濱 川 祐 作

我々が日々商売している電器製品も造れば売れた時代から各家庭の必需品までに成長し、ややもすれば飽和状態に近い商品もあり、メーカーをはじめ我々小売業界も売上の伸び悩み、あるいは減少に苦慮しています。

また、商の形態も小型店いわゆる街の電器屋中心の時代から大型店の安売り中心の時代へと変遷し、今やネット販売や通信販売が業界の30%までに台頭してきていると言われています。

このような時代になり、街の電器屋は「どう経営していけば生き残れるか」を真剣に検討しています。その一助として電機商業組合では、「スマートライフコンシェルジュ」の勉強会を立ち上げ、全国全組合員が取組んでいます。



「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」を中心にこれらが語れる、実践出来る電器屋になろう、そして安心安全を顧客にお届け出来る、さらにはこの事により業界をリードしていくと取組んでいます。

一般社団法人群馬県信用組合協会

会長 松井 誠

雇用や所得環境の改善、経済対策効果から経済は緩やかな回復に向かうことが期待されておりますが、次期米大統領の政策の不透明感から日本経済への影響が不安視されております。多くの中小企業は収益の改善が見られず、特に地方では景気回復の実感が得られない状況が続いております。

全日空では昨年12月から2月まで群馬県産食材を使った機内食の提供、空港ラウンジでの群馬県産日本酒の提供や富岡製糸場等の風景を機内で放映しており、これが県産食材の消費拡大、県のイメージアップにつながり、鶴舞う形の群馬県が西年に大きく羽ばたくことを期待したいものです。

私たち県内3信用組合も総合力

を発揮し、皆様のお役に立てられるように努力してまいりますので、本年もよろしくお願い致します。

高崎卸商社街協同組合

理事長 吉瀨 達三

新春を寿ぎ、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、マイナス金利、熊本や各地の地震、ＩＳのテロ、北朝鮮の核やミサイル、混迷を極めた米大統領選挙等々、国の内外で大きな出来事が相次ぎました。光陰の速さに驚きつつ、今年こそ平穏な年であることを祈ります。

さて、本組合は昭和38年に組織化し、日本で最初の卸商業団地として、昭和42年に完成しました。本年は「団地完成50周年」に当たります。記念式典を開催するとともに、2050年を見据えた組合ビジョンを策定する予定です。

この半世紀は、もちろん順風満帆であったわけではありません。取り巻く環境は大きく変化し、問屋としてのビジネスに影が差した時もありました。先人が並々ならぬ試練を乗り越え、今日のにぎわ

う街を創りあげたのであり、今後より一層、地域と共存共栄する組合を目指す所存であります。

今、高崎駅周辺では大規模な開発が進んでいます。わが問屋街も「高崎副都心」として、隣接駅の役割が求められていると感じています。交通の利便性を活かし、中心市街地と一体的に連携することにより、組合員のみならず数多くの人々にご愛顧いただけるよう諸活動を展開して参ります。

皆様の社業隆盛をご祈念申し上げるとともに、本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

協同組合群馬県機械設備工業会

理事長 串 田 紀之

団体運営の効率化を目指し、一昨年11月に「群馬県冷凍空調設備工業組合」との事業統合を果たして以来、早くも一年以上が経過致しました。

組織再編と同時に、組織名称も「群馬県管工設備協同組合」から現名称に変更し再スタートを切りましたが、お陰さまで皆様より暖かいご理解とご支援をいただき、

感謝申し上げます次第です。

防災・減災への関心が高まる中で、生活インフラや施設の老朽化への対応が課題となっています。一昨年には「フロン排出抑制法」が施行され、環境への配慮も一層求められています。水と空気のインフラを支える私ども設備業界の役割は益々大きくなっており、事業統合の成果を活かし、更に一歩踏み出していく所存です。

群馬県商店街振興組合連合会

会長 今川 守

明けましておめでとうございませす。

さて、我が国経済は緩やかな回復基調にあると言われているものの、中小小売商業の現場では、依然として消費の低迷が続ぎ、景気回復の実感は得られていないのが実情です。

とりわけ中心商店街においては、業績不振や後継者難を理由とする個店の廃業が相次ぎ、法人組織としての活動に支障をきたす事態も起こりつつあります。

こうした厳しい環境にありなが



らも、傘下商店街においては、地域の実情に応じた主体的かつ創意工夫を凝らした取組を通じ、安全・安心、福祉・子育て、高齢化社会への対応など、人々の生活基盤を支えるコミュニティ機能の核組織として懸命な努力を続けているところなのです。

本会と致しましても、まちで暮らす人々の大切な共有財産である商店街の価値を更に高め、「地域に頼られる商店街」「人と人を繋ぐ商店街」の実現を目指して参る所存でございますので、関係各位の layers の指導・鞭撻のほどを宜しくお願い申し上げます。

群馬県旅館ホテル

生活衛生同業組合

理事長 森田 繁

輝かしい新年を皆様とともにお慶び申し上げます。あわせて平素のご指導、ご愛顧に衷心より感謝いたします。

昨今、旅館業界にとつての最大の関心事は「民泊」問題です。旅館・ホテルは旅館業法等により、施設・衛生・立地等多くの規制の網を被っておりますが、民泊は新

法で対応することから規制が軽いことが想定されます。当組合は地域との共栄・共存を願い、お客さま第一の姿勢を貫いてまいります。

当組合では、日頃から安全・安心な業界づくりに取組んでおるところであり、全国に誇れる「温かいおもてなし」でさらなる群馬県のイメージアップに努めていきたいと思っております。

本年も皆様のご指導、ご愛顧を心よりお願い申し上げます。

群馬県電気工事工業組合

理事長 小谷野 一彦

平成29年の新春を迎え謹んでお喜び申し上げます。平素は弊組合の事業活動に対し、関係各位の皆様にご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。年頭に際し一言ご挨拶申し上げます。

現在私どもの電気工事業界においては、旧来からの後継者不足の問題、業界の人材不足による2018年問題、景気の好況感による業界再編機運の高まりという主な理由による隣接業種とのM&Aが急増しているのが現状です。

エネルギー需要の増加等により電気に関わる産業全体に追い風が吹いていることは事実ですが、高まるニーズへ現場に従事する電気工事士の数が対応しきれぬのかという問題が浮き彫りになっています。

組合といたしましては現在、若手人材の育成と確保に力を注ぎ、働き手不足を解消したいと考え、組合員が一丸となつて電気工事業の魅力を発信し続ける努力を行っており、今後も継続して参りたいと存じます。

結びに皆様のご繁栄とご健勝を祈念し、新しい年が明るく実りある年になるよう願つて挨拶いたします。

協同組合前橋問屋センター

理事長 都丸 正樹

昨年の景気は、円高や株安、中国経済の失速、イギリスのEU離脱決定等の影響により足踏みが続いたような状態になるとともに、日銀のマイナス金利導入により金融面でも不透明感が増しました。

さらに、本年は米国に新大統領が就任し、その経済政策は、わが

国経済はもろろんのこと地域経済に多大な影響を与えることが想定されます。

このような不確実な時代には、知恵と工夫によつて大きなビジネスチャンスに繋がるものと考えます。

当組合施設「前橋問屋センター会館」は、皆様のビジネス空間として幅広いご利用（展示会、講習会、会議等（飲食も））が可能となつておりますので、ご利用をお待ちするとともに、今年一年が皆様にとりまして最良の年になりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

群馬県再生資源事業

協同組合連合会

会長 上岡 克己

「クロネコヤマトの宅急便」の生みの親、小倉昌男さんの「デメリットがあるからビジネスチャンスがある」という思想は、学問、研究にも応用可能です。デメリット100%でメリット0%というものではなく、デメリットがあれば必ずメリットもあります。ただし、なんでもやってみなければわかり



ません。失敗したら、二度と失敗しないためにはどうするか考えます。昔から「失敗は、成功のもと」と言われており、失敗しないと進歩がありません。経営も教育も失敗から学ぶ事ができるのではないのでしょうか。

年頭に当たり、何事にも失敗を恐れず突き進んでいく所存です。

群馬県ビルメンテナンス協同組合

理事長 高橋 康 男

新しい年を皆様には清々しい気持ちで迎えられたことと思います。

中々景気の上向き状態は感じる事ができない昨今です。むしろ不安材料のほうが、増してきている感が致します。

業界は人手不足に悩んでいます。昨年よりベトナムから受け入れを開始いたしました。経費の負担がどの程度か読めない状態です。このままだと、新たに獲得した物件の運営ができなく、辞退という状態が考えられ、深刻な事態になっています。もともと高齢者を雇用するノウハウは確立していますが、さらに本人の希望に合

せたノウハウの蓄積が必要と思えます。

本年は「人」の問題で苦勞する年のような気が致します。なにかと勞の多い一年になりそうです。

群馬県不動産事業協同組合

理事長 長井 貞 二

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平成28年度群馬県地価調査では、対前年比0.9%のマイナスになり24年連続の下落となりましたが、下げ幅は5年連続で縮小し、高崎市、伊勢崎市の住宅地、高崎市の商業地においてプラスになった地点が増加しました。高崎市は駅前再開発事業により今後も取引が堅調に進むのではないかと期待しています。

また、昨今話題になっている空き家問題ですが、空き家の管理業務を不動産業者に委託する新しいビジネスも誕生しています。今後組合員の取引も増加するものと考えています。適正な空き家管理と安心安全な街づくりの一端を担う事で不動産業界の社会的信用も向上するものと考えています。

本年も組合員に対し新しい情報の紹介や研修を通じたスキルアップを実施し、実り多き一年にしたいと願っています。

終わりに、群馬県の発展と、皆様のご多幸を祈念申し上げ新年のご挨拶いたします。

群馬県鐵構業協同組合

理事長 大竹 良 明

新年あけましておめでとございます。

昨年度の鉄骨需要は約500万トンとなり、ほぼ製作能力とバランスのとれた仕事量を確保し、堅調に推移しました。本年度は、東日本大震災の復興工事や東京オリンピック・パラリンピックの開催、熊本地震災害など度重なる各地域における自然災害への対策、また、新設が予定されている県内コンベンション施設や、更新時期を迎える老朽化した社会基盤の整備など、底堅い需要が継続するものと予想されています。

また、少子高齢化、建設産業への新規入職者の減少に対しては、やりがいや達成感のある「魅力あ

る職場」として、地元若者達が就業できる環境の整備をすすめてまいります。

年頭に当たり、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

群馬県板金工業組合

理事長 桑 原 洋

謹んで新春のお慶び申し上げます。

景気は緩やかな回復基調が続いていると言われておりますが、業界を取り巻く経営状況は、依然厳しい状況が続いております。

このような中で、建築板金業界として出来ることは、我々の持つ優れた技能・技術を決して安売りする事なく適正な価格で提供してゆくことです。そのために一定の技能を持つた証である技能士資格を世間に周知し、公的評価を高めてゆく事と、技能者を養成する仕組みを長期的な視点から運営してゆく事が重要であると考えています。

また、このような時こそ組織の強い団結・結束が求められるところであります。組合では、更なる



組織強化を図って、活力ある業界を基本理念に、組合員の生活向上につながる事業を積極的に展開してゆく所存です。

本年が皆様にとつて良い年であります事を祈念致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

赤帽群馬県軽自動車運送協同組合

理事長 赤間 美代子

平成29年の新年を迎え謹んで皆様にご挨拶を申し上げます。

当組合は県内に130名の組合員と160台の赤帽車があります。私達は24時間365日対応できる物流を続けています。近年は各自治体と防災協定を結び定期的に訓練を実施し、又防犯パトロールや犯罪被害者支援に協力したり、地域社会に関わってきました。

そんな中、昨年GPS配車システムを前橋・太田各支部で導入し、待機時間の減少を図り、効率よく仕事ができるようになりました。高齢化も進んでいます。年齢に合った仕事を多様化の中で取組み、女性や若者が活躍できる状況を作り出す様に努めていきたいと思つて

います。

本年もより一層のご指導、ご愛顧頂きます様お願い申し上げます。

群馬県石油協同組合

理事長 小野里 克 巳

ガソリン1ℓあたりの価格の内訳（小売価格125円）は、消費税9・26円、ガソリン税53・80円、石油石炭税2・80円、本体価格59・14円となっており、税金が約53%を占めています。

消費税が将来増税になれば、タックス・オン・タックスは拡大し、消費者負担が更に増大し石油需要の減少が一層進むことは必至であります。

また、最近では電気自動車（EV）そして水素を利用した燃料電池自動車（FCV）も販売が開始されました。これらの車についてはガソリン車の様な自動車燃料税の課税対象となつておらず、道路を通行するにあつて著しく公平性を欠いたものとなっております。石油業界としては石油諸税の更なる増税の反対、課税の公平性の確保を強く訴えていきます。

青年経営者

群馬県中小企業団体青年協議会

会長 境 野 泰 照

群馬県トラック事業協同組合

青年協議会 監事

トラック業界の人材不足は日を増すごとに、全国各地で問題化しております。高齢になればトラックドライバー職を続けていく事は難しく、一方で若い世代はトラック業界への関心が低いと言われております。そうした現状を受け止め、より良い環境づくりやトラック業界のアピールを行う事が大切だと考えております。労働時間が長い現状の改善や賃金アップを行なう為にも、必要な適正運賃収受が大切になってきます。その為には1社1社で活動する事も大切ですが、協同組合の団結した力で活動する事が、より近道になると考えております。

明るい未来を自分たちの力で切り開いていくためにも、皆様のお力添え頂きまよう、よろしくお願ひ申し上げます。

■新年会のご案内

本会は、会員の皆様のご繁栄と連携を図るため、恒例の新年会を左記のとおり開催します。皆様のご出席をお待ちしております。

日時 平成29年1月23日(月)

午後3時30分～

場所 前橋商工会議所会館
2階ローズ

前橋市日吉町1-8-1

新春講演会

「新たな米国政治と

日米関係の展望」

東京大学大学院法学政治学研究科

教授 久保 文明 氏



懇親会 午後5時～

会費 1人 6,000円

※お問い合わせは本会総務情報課まで。